

研究パネル

新医師臨床研修制度のもとで市町村が協力する地域保健研修の検討

安武 繁

県立広島大学保健福祉学部看護学科

抄 録

1. 調査研究の目的

新医師臨床研修制度のもとでの地域保健・医療領域の研修を、保健所や市町村保健センターが担っている。本調査研究では、短い研修期間の中で、地域保健法のもとで地域保健サービス提供体制が大きく異なる県立保健所と市保健所での研修の特徴を分析し、実りの多い研修プログラム提供のあり方や今後の課題について明らかにした。また、市町村が協力する地域保健研修について検討した。

2. 方法

- 1) 調査対象：平成 17・18 年度の 2 年間に、広島県内の 9 保健所（県立 6 及び市 3）で実施されたすべての地域保健研修プログラム・実地調査（和歌山県）
- 2) 調査内容：実地研修（見学、実践、カンファレンス参加、演習等）プログラム項目

3. 結果と考察

1) 健康づくり、生活習慣病予防、母子保健研修の意義

- [例] ・育児相談（市保健所）：子育て中の市民の生の声を聞くことができる。
- ・児童虐待防止対策会議（県立保健所）：「医療機関と保健所・保健センターとの連携事業」への参加により、医療機関から児童虐待にかかわる連絡の意義を知ることができる。
 - ・市町村における禁煙推進協議会への参画（市町村）
 - ・学校での禁煙教育の実践（市町村、教育委員会、学校）
 - ・市町村保健センターでの禁煙教室への参加（市町村）

2) 保健・福祉サービスの総合理解、地域コーディネーション研修の意義

- [例] ・圏域地域保健対策協議会への参加（県立保健所）：地域の保健・医療・福祉機関（医師会、管内市町、県立保健所など）が参画する広域的事業を知ることができる。
- ・介護保険訪問調査への同行など（市保健所）：患者の在宅生活を支える高齢者・障害者地域ケアネットワークを知ることができる。
 - ・精神障害者社会復帰のための案内図作成（市町村）
患者の在宅生活を支える社会資源の情報提供

本調査報告は、平成 17・18・19 年度科学研究費補助金基盤研究（C）（課題番号 17590457）の助成を受けた。

キーワード：医師臨床研修，地域保健，保健所，市町村